



2022年度  
**安全報告書**

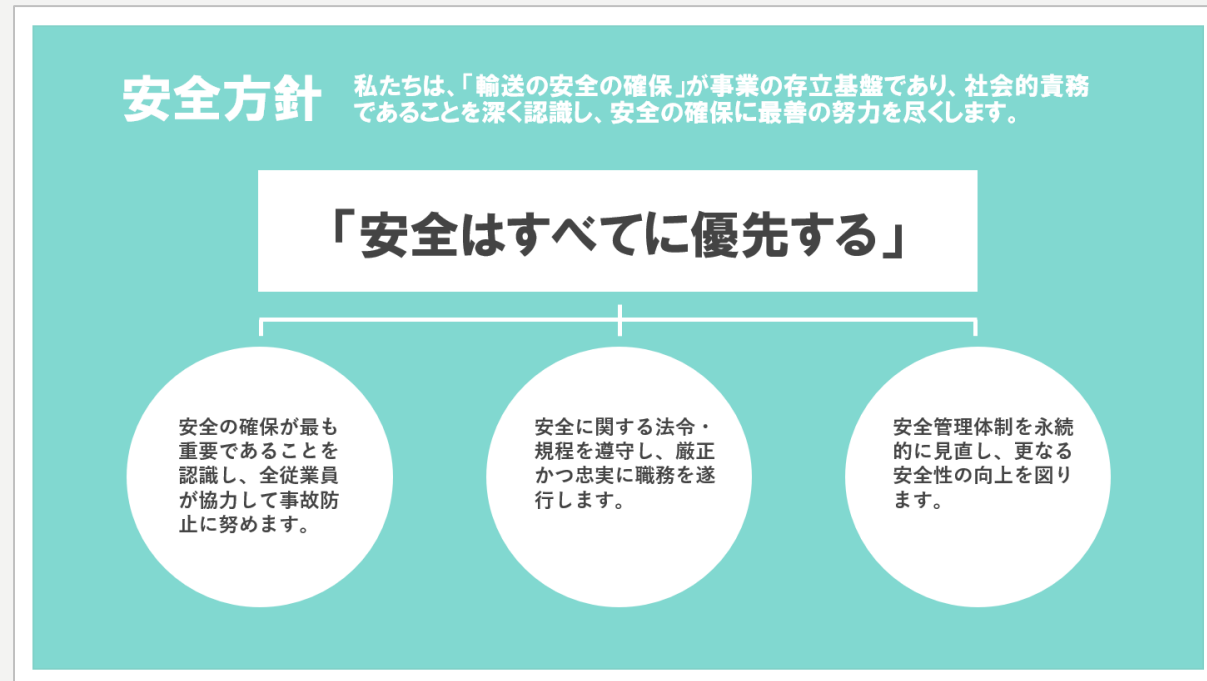
阪急観光バス株式会社

# 目次

1. 輸送の安全に関する基本的な方針
2. 輸送の安全に関する重点施策
3. 輸送の安全に関する目標及びその達成状況
4. 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況
5. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計
6. 輸送の安全に関する計画
7. 安全統括管理者
8. 安全管理規程
9. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統
10. 輸送の安全に関する内部監査の結果及びそれを踏まえた措置内容
11. 一般貸切自動車運送事業の内容について

# 1. 輸送の安全に関する基本的な方針

経営トップ及び安全統括管理者は、輸送の安全の確保が事業の存立基盤であり、社会的責務であることを深く認識し、社内において主導的な役割を果たしてまいります。また安全の確保に資する現場の声を傾聴するとともに、企業理念、安全方針の浸透を図り、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を全従業員に徹底してまいります。



## 2. 輸送の安全に関する重点施策

- ①輸送の安全が最も重要であるという意識を徹底し、安全管理規程に定められた事項及び関係法令を遵守します。
- ②輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- ③輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じます。
- ④輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有します。
- ⑤輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施します。
- ⑥グループ企業と密接に協力し、一丸となって輸送の安全性向上に努めます。

### 3. 輸送の安全に関する目標及びその達成状況

#### 2022年度目標及び結果

重点目標	目 標	実 績
重大事故発生件数	0件	0件
人身事故発生件数	0件	0件
有責事故発生件数	20件以下	15件
酒気帯び出勤件数	0件	1件
営業所ごとの連続無事故日数	100日	全営業所達成

(百万円)

輸送の安全に関する投資額		予 算	結 果
輸送の安全に関する投資額		199	142
①	バス車両更新等に伴う投資	146	89
②	運輸従事員の教育指導実施に伴う投資	37	38
③	安全管理体制強化に伴う投資	16	14

## 4. 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況

2022年度

- (1) 経営トップ、安全統括管理者の職場巡視 (6回)
- (2) 運輸安全推進委員会 (3回)
- (3) 運輸部会議の開催 (12回)
- (4) 経営管理部門管理職による早朝・夜間点呼立会い (24回)
- (5) 営業所会議の開催 (24回)
- (6) 営業所責任者教育 (責任者研修・運行管理者一般講習等) (延べ495名)
- (7) 安全運転講習会の開催 (4回)
- (8) 運転士教習等の実施 (延べ183名)
- (9) 外部機関研修 (クレフィール湖東等) の実施 (8名)
- (10) ナスバネット等による適性診断の実施 (98名)
- (11) 無事故無違反チャレンジコンテストへの参加 (271名)
- (12) 睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 検査の実施 (29名)
- (13) 脳ドック検査の実施 (35名)
- (14) 代替車等の導入 (1両)
- (15) 無事故運転士 (運転者) 表彰の実施及び社長等と受賞者代表による座談会の開催 (1月、2月)
- (16) 緊急事態対策訓練の実施 (緊急事態発生時の連絡体制確立他) (8月、10月)

## 5. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

### 2022年度

第2条第3号に関する報告（死者又は重傷者を生じた事故）	0件
同条第9号に関する報告（運転士の疾病）	0件
同条第11号に関する報告（車両故障）	5件
同条第14号に関する報告（交通障害）	0件

## 6. 輸送の安全に関する計画

2023年度の目標と計画

### ★ 2023安全スローガン ★

#### 確認の徹底

運 転 規 範	速 度 の 抑 制
	車間距離の確保
空 港営業所重点項目	構内徐行の励行！
空港南営業所重点項目	右左折時安全確認の徹底！ 横断歩道での一旦停止の励行！
大 阪営業所重点項目	2段階バックの励行！
中 津営業所重点項目	先ず止まれ！3秒停車で周囲の安全確認の励行！
★ CSスローガン	“お客様”に対して、丁寧な言葉遣いをしよう！



## 6. 輸送の安全に関する計画

### 2023年度の目標と計画

重点目標	目 標
重大事故発生件数	0件
人身事故発生件数	0件
有責事故発生件数	30.3%減 ※2019年比
酒気帯び出勤件数	0件
営業所ごとの連続無事故日数	200日

CS推進	目 標
お褒め件数	7.4%増 ※前年比
苦 情件数	10.9%減 ※前年比

輸送の安全に関する投資額	予 算 (百万円)
輸送の安全に関する投資額	857
① バス車両更新等に伴う投資	805
② 運輸従事員の教育指導実施に伴う投資	38
③ 安全管理体制強化に伴う投資	14

## 6. 輸送の安全に関する計画

### (1) 安全最優先・法令遵守の職場風土の醸成

安全方針及び安全スローガンの浸透と実践について、経営トップ・安全統括管理者による営業所巡視等の諸施策により検証するとともに、安全最優先・法令遵守の職場風土の醸成に努めます。



## 6. 輸送の安全に関する計画

### (2) 運転士教育及び研修（運転士及び管理者に対する教育）

オブジェ・アイマークレコーダー等の教育機材や外部の教育施設を有効に活用した参加体験型の安全運転教育に努めます。また、視機能検査器具を活用し、動体・夜間・深視力の変化を適切に指導します。

安全に関する年度目標等の浸透を図るため、継続的な乗務員研修等を活用し、安全レベルの向上を図ります。

オブジェ・アイマーク教習



高齢運転者教習



現業部門の管理者に対しては、社内外の講師による教育を実施し、関係法令や現場対応力の習得と安全意識の向上に努めます。





## 6. 輸送の安全に関する計画

### (3) 日常監督指導の強化

経営管理部門による点呼立会いをはじめ、現場管理者による重点危険箇所での立ち番の実施等による安全意識啓発の他、私用携帯電話の保管ロッカーへの預け入れ等により厳正な執務に努めます。



私用携帯電話保管ロッカー

## 6. 輸送の安全に関する計画

### (4) 情報の伝達及び共有

WEB会議の活用により情報連携の迅速化を図るとともに、ヒヤリ・ハット情報や危険箇所等の動画・静止画を活用したタッチパネル式情報版の設置やドライブレコーダー映像を活用した点呼等、情報の伝達と理解促進を図ります。また、安全統括管理者と現業従業員とのコミュニケーションツールとして安全目安箱を設け、輸送の安全に関する情報の収集の促進を図ります。



安全目安箱



ヒヤリ・ハットマップ



ヒヤリ・ハット事例集

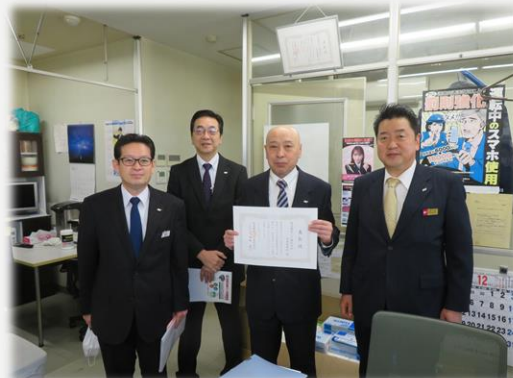




## 6. 輸送の安全に関する計画

### (5) 安全意識及びモチベーションの向上

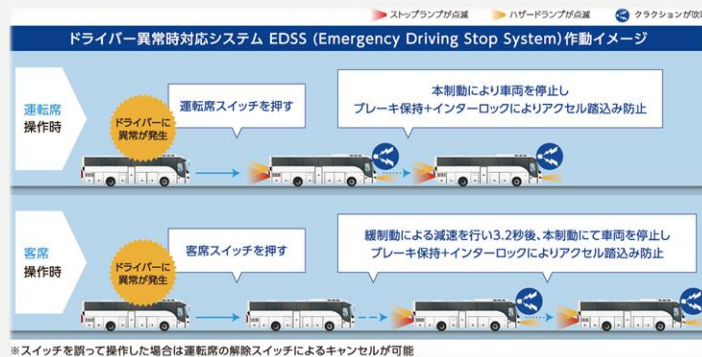
連続無事故営業所表彰や無事故運転士表彰の実施により安全に対する意識の向上を図るとともに、運転士との懇談会で経営トップと運転士のコミュニケーションを通して、安全意識の共有を図ります。



# 6. 輸送の安全に関する計画

## (6) 安全に対する車両設備等の充実

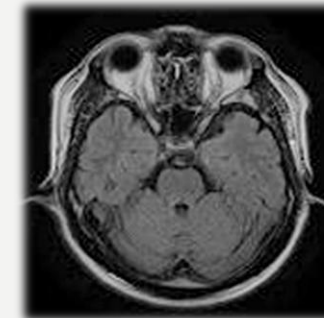
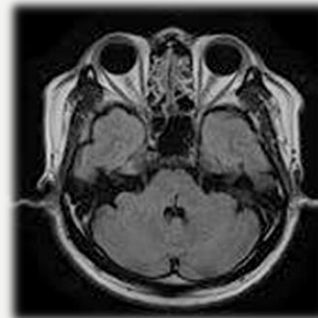
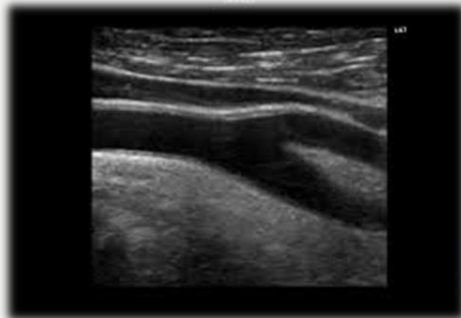
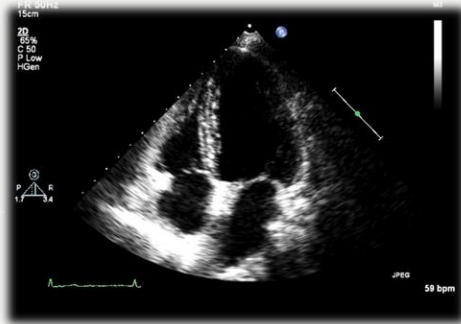
ドライバー異常時対応システム（EDSS）等を搭載した先進安全自動車の導入を進め、運転士が急病等で異常が発生した際の安全性向上に努めるとともに、ヘッドライトのLED等への変更他、左サイドビューカメラの導入等により安全確認装備の充実を図ります。また、ドライブレコーダー（6カメラ）を導入し、より詳細な事故原因の把握、原因究明等に取り組みます。



## 6. 輸送の安全に関する計画

### (7) 安全管理体制の強化（運転士の健康管理の徹底）

社員の健康管理強化のため、法定健康診断や労災二次健康診断に加え、SAS検査や脳ドック検査等を導入し、健康な状態で乗務する体制整備を図り、健康起因事故防止に努めます。





# 6. 輸送の安全に関する計画

## (8) 酒気帯び出勤の撲滅

飲酒運転防止インストラクター資格を取得した現場管理者が運転士に対し、飲酒が運転に与える影響を教育し、酒気帯び出勤撲滅の風土作りに取り組むとともに、運行管理者が乗務前後の点呼でアルコール検知を確実に実施し、事業用自動車の安全運行に万全を期しています。また、本社管理部門による点呼立会いの実施や記録式アルコール検知器により確実な点呼執行を徹底します。加えて、家庭での飲酒量抑制にも取り組むために「ご家族への手紙」を作成し、従業員の家族に対しての啓発を実施するとともにアンケートによる理解度の把握に努めます。



### 「ご家族への手紙」

ご家族の皆様へ

2022年12月

緊急観光バス株式会社  
代表取締役社長 寺西 保  
大浜支店支店長 藤田 誠  
執行委員長 浅野 賢士

酒気帯び出勤の防止について

拝啓 時下ますますご清栄のことと存じます。日頃は当社業務に格別のご理解とご協力をいただき、従業員及びご家族の皆様に対し深く感謝申し上げます。

従業員の皆様におかれましては、飲酒運転について、年々問題の注目が厳しくなっていることを存察し、常日頃から酒気を帯びた出勤とならないよう心がけていただいておりますが、今年も残念ながら出勤時にアルコール検知器が反応する事象が発生し、当該乗務員に対し謝罪を料しております。たとえ出勤時には飲酒を抑制したとしても、自宅用車等での過剰飲酒には酒気帯び発覚となっていた可能性もあります。

9月には、厚生労働省よりWebコロナの新たな段階への移行に向けた見直しが行われ、飲食店等も原則通常営業していることから、年末年始を踏まえてあたり自宅や飲食店等での飲酒の機会が増えると思っております。ご家族の皆様がひとりで飲酒を抑制していただくことにより、酒気を帯びた出勤は、絶対に発生できずと願っております。

また、当社でも全力を尽くし酒気帯び出勤を撲滅するための様々な取り組みを実施して参りますが、従業員はもとよりご家族の皆様におかれましても、飲酒量の見直し等により、酒気帯び発覚の防止について改めてご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。敬請

## 6. 輸送の安全に関する計画

### (9) 接遇・サービスの向上

安全とCSは表裏一体と考え、お客様から頂くご意見に対し再発防止に取り組むとともに、CSに関するスローガンを掲げ、接遇・サービスの向上を図ります。また、継続的な乗務員研修では実例を用いた社員教育に取り組みます。

★ CSスローガン

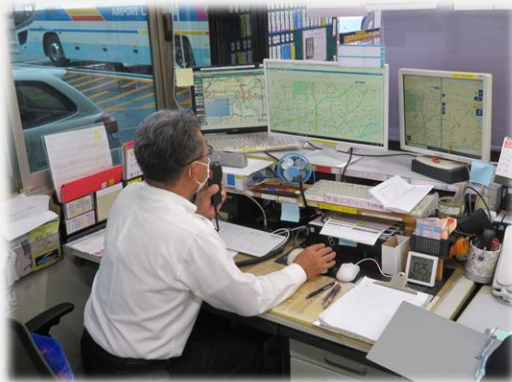
**“お客様”に対して、丁寧な言葉遣いをしよう！**



## 6. 輸送の安全に関する計画

### (10) 重大な事故、自然災害への対応

重大事故や自然災害等の事態に備えて、対応ルールを整備するとともに、緊急事態対応訓練を実施し、緊急事態発生時の体制強化に取り組みます。



## 7. 安全統括管理者

取締役運輸部長 野崎 敏

## 8. 安全管理規程

別紙「安全管理規程」参照

## 9. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

別紙「輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統」参照

別紙「事故、災害等に関する報告連絡体制」参照

# 10. 輸送の安全に関する内部監査結果及びそれを踏まえた措置内容

## ① 監査目的

安全管理規程第十条五項及び第十五条に定める輸送の安全に関する監査を実施し、安全管理体制の「適合性」と「有効性」を検証

## ② 実施期間

2023年3月1日～31日

## ③ 対 象

経営トップ  
本社管理部門  
運行部門  
車両整備管理部門

## ④ 実施内容

経営トップの責務、安全管理体制の運用状況、安全に関する目標設定及び達成状況、教育及び研修の実施状況に対する是正、予防、改善措置について適正に実施されているかを確認

## ⑤ 監査結果

特段の指摘事項はなく、おおむね適正であることを確認  
さらなる管理機能の強化が求められる本社部門に対して要望事項の提案



# 1 1 . 一般貸切自動車運送事業の内容について（2023年3月31日現在）

## ①運転者に係る情報

運転者/正規	29
運転者/正規以外	14
健康保険加入者数	43
厚生年金加入者数	43
労災保険加入者数	43
雇用保険加入者数	43
運転者/平均勤続年数	23年6ヶ月

## ②運行管理者に係る情報

運行管理者数	15
運行管理補助者数	6
他業務と兼務する運行管理者数	15
他業務と兼務する運行管理補助者数	6

## ③整備管理者に係る情報

整備管理者数	2
整備管理補助者数	16
他業務と兼務する整備管理者数	2
他業務と兼務する整備管理補助者数	16

# 1 1 . 一般貸切自動車運送事業の内容について（2023年3月31日現在）

## ④事業用車両に係る情報

大型車両数	34両
最新車齢	3年
最古車齢	16年
平均車齢	10年
ドライブレコーダー搭載車両数	34両
デジタコ搭載車両数	34両
ASV搭載車両数	19両
主な運行態様	観光輸送（昼間）・企業輸送
中型車両数	1両
最新車齢	4年
最古車齢	4年
平均車齢	4年
ドライブレコーダー搭載車両数	1両
デジタコ搭載車両数	1両
ASV搭載車両数	1両
主な運行態様	観光輸送（昼間）
小型車両数	1
最新車齢	12年
最古車齢	12年
平均車齢	12年
ドライブレコーダー搭載車両数	1両
デジタコ搭載車両数	1両
ASV搭載車両数	0両
主な運行態様	観光輸送（昼間）
任意保険/対人保険金額	無制限
任意保険/対物保険金額	無制限

**「安全はすべてに優先する」**